

国土数值情報（消防署）

製品仕様書

第 1.1 版

平成 25 年 3 月

国土交通省国土政策局

目次

1. 概覧	1
1.1. 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2. 目的	1
1.3. 適用範囲.....	1
1.4. 引用規格.....	1
1.5. 用語と定義	2
1.6. 略語	2
1.7. 参考資料.....	2
2. 適用範囲	2
2.1. 適用範囲識別.....	2
2.2. 階層レベル	2
3. データ製品識別	3
3.1. 製品仕様識別.....	3
4. データ内容および構造	3
4.1. 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	3
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ	3
4.1.2 施設パッケージ.....	4
4.1.3 消防署パッケージ	5
4.1.4 共通パッケージ.....	10
4.2. 空間スキーマプロファイル.....	10
4.3. 時間スキーマプロファイル.....	10
5. 参照系.....	10
5.1. 座標参照系	10
5.2. 時間参照系	10
6. データ品質	11
6.1. 品質要求及び評価手順.....	11
7. データ製品配布	13
7.1. 配布書式情報.....	13
7.2. 配布媒体情報.....	13
8. メタデータ	13

付属資料

1. 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
2. 符号化仕様	2

1. 概覧

1.1. 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（消防署）製品仕様書 第 1.1 版
- 日付：2013 年 3 月 1 日
- 作成者：国土交通省 国土政策局 国土情報課
- 言語：日本語
- 分野：施設
- 文書書式：PDF

1.2. 目的

本製品仕様書に基づく国土数値情報データは、国土形成計画の策定を支援することを目的とする。また、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、全国の消防施設（消防本部、消防署、分署・出張所等）の位置（点）及び全国の消防署の管轄範囲（面）について、名称、種別区分、所在地、管轄区域等を整備したものである。

1.3. 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲：日本全国
- 時間範囲：本製品仕様書に基づき作成されるデータの作成年度まで

1.4. 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版 平成 21 年 5 月

1.5. 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版「付属書 5 (規定) 定義」
- 国土交通省国土政策局国土情報課 GIS ホームページ ガイダンス
URL: <http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/guidance/index.html>

1.6. 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7. 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2. 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1. 適用範囲識別

国土数値情報（消防署）製品仕様書第 1.1 版適用範囲

2.2. 階層レベル

データ集合

3. データ製品識別

3.1. 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称：国土数値情報（消防署）データ
- 日付：2012年3月16日
- 問い合わせ先：国土交通省 国土政策局 国土情報課
電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1569
Email：nsdijp@mlit.go.jp
- 地理記述：全国

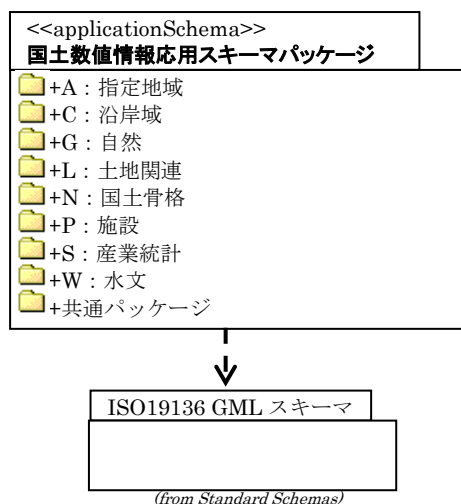
4. データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1. 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

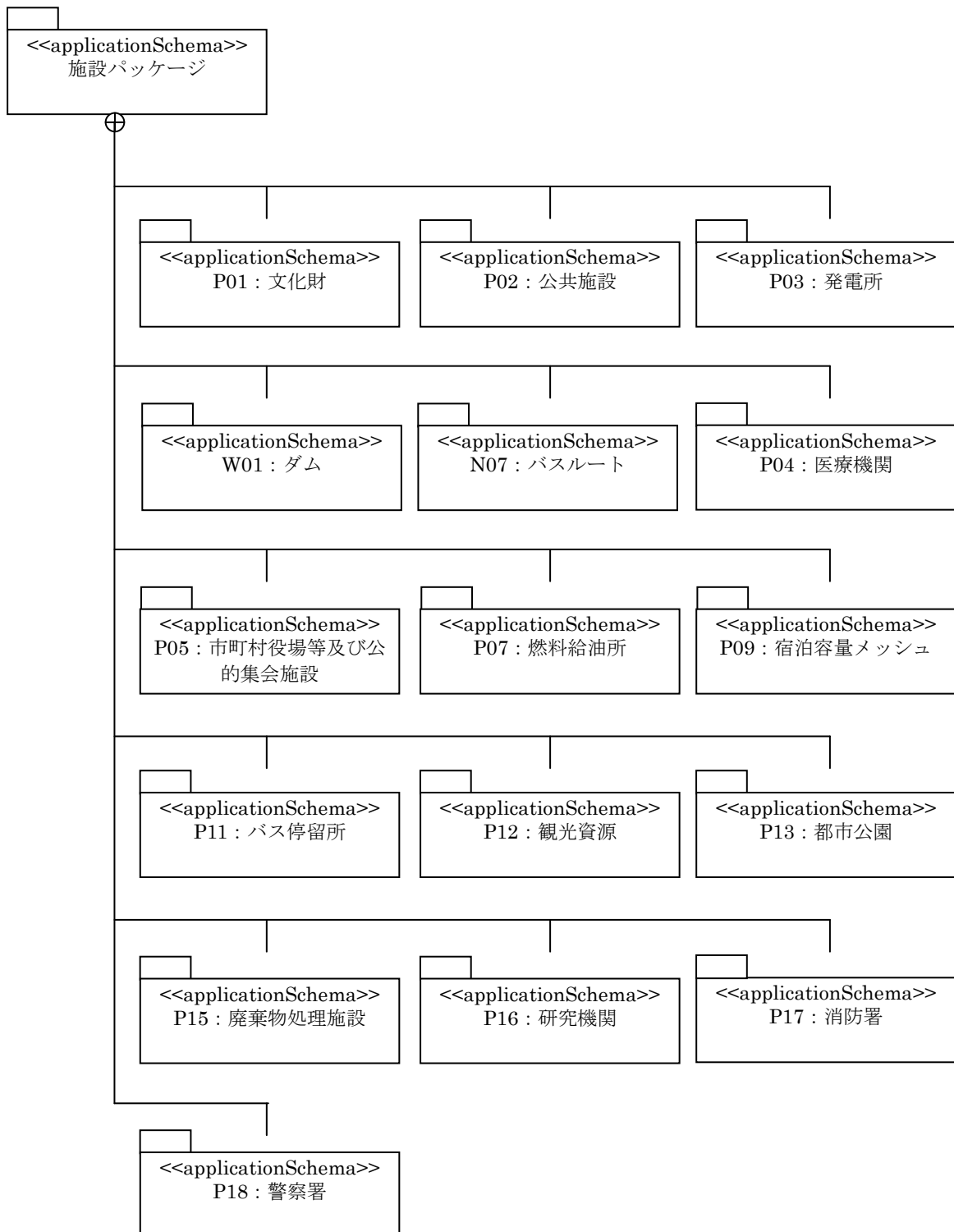
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、施設や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 施設パッケージ

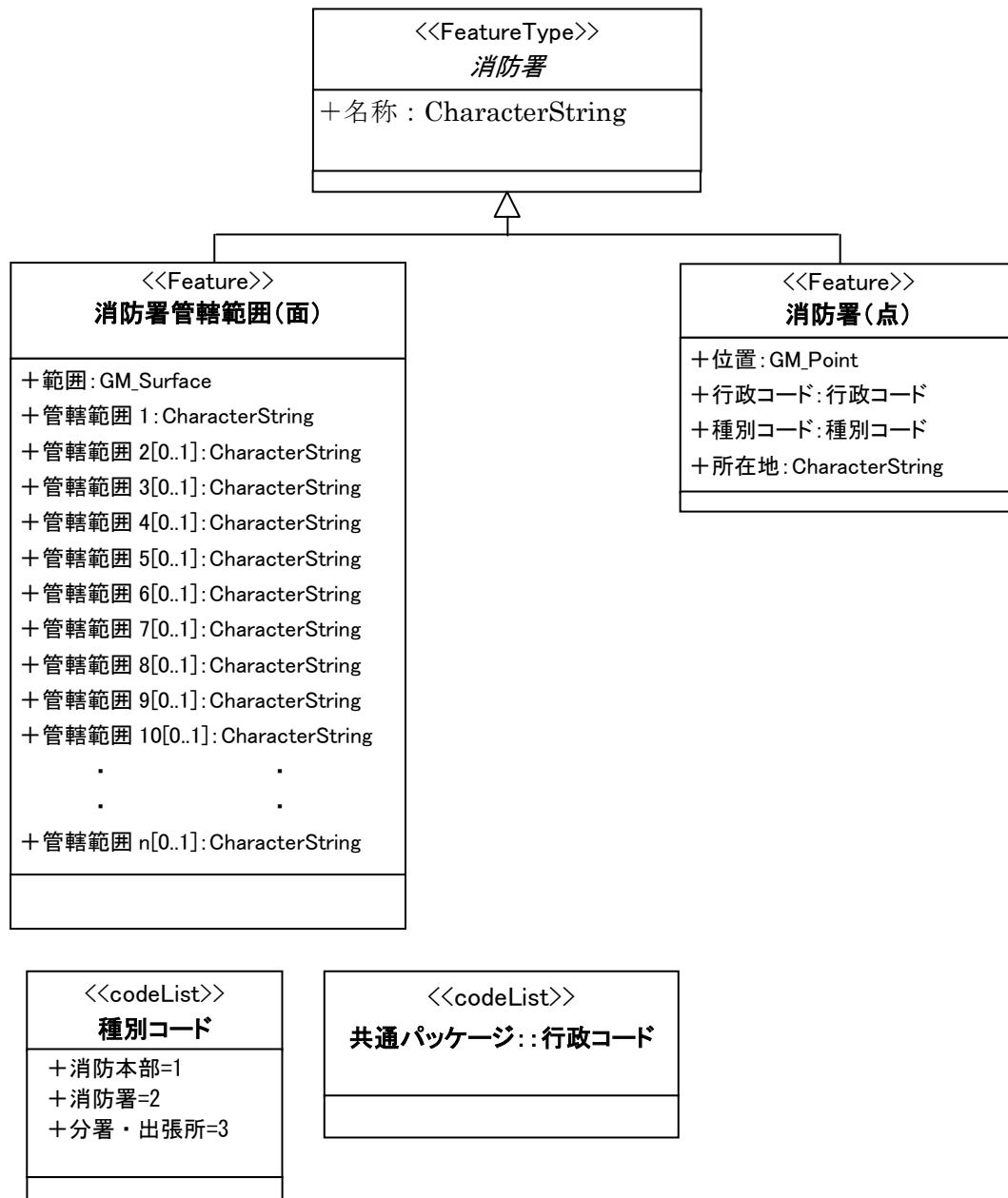
このパッケージは、施設パッケージをまとめたものである。



4.1.3 消防署パッケージ

このパッケージは、消防署に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1. 応用スキーマクラス図



4.1.3.2. 応用スキーマ文書

消防署

消防署は、消防に関する公の施設を表したものである。

データ作成の原典資料を以下に示す。

- ・市区町村のホームページ（各市区町村）
- ・消防署のホームページ（各消防署）
- ・平成21年度「全国消防便覧」（株式会社ぎょうせい発行）
- ・「国土数値情報（公共施設）」（国土交通省 国土政策局）

なお、時点は原則として平成24年7月とするが、それ以降に調査した場合はさかのぼる必要は無い。

上位クラス：

抽象／具象区分：抽象

属性

名称：CharacterString

消防署の名称。

■ 定義域

原典資料に示される消防施設の名称。

消防署管轄範囲（面）

消防署の管轄範囲を表したものである。

上位クラス：消防署パッケージ：消防署

抽象／具象区分：具象

属性

範囲：GM_Surface

消防署の管轄範囲。

管轄範囲 1：CharacterString

消防署の管轄範囲を文字列で記述（住所等）。

■ 定義域

原典資料に示される管轄範囲の住所。

250バイト以内、かつ1つの住所が途中でとぎれないようにすること。

管轄範囲 2[0..1]：CharacterString

消防署の管轄範囲を文字列で記述（住所等）。

■ 定義域

原典資料に示される管轄範囲の住所。管轄範囲 1 で不足した場合使用。
250 バイト以内、かつ 1 つの住所が途中でとぎれないようにすること。

管轄範囲 3[0..1] : `CharacterString`

消防署の管轄範囲を文字列で記述（住所等）。

■ 定義域

原典資料に示される管轄範囲の住所。管轄範囲 1～2 で不足した場合使用。
250 バイト以内、かつ 1 つの住所が途中でとぎれないようにすること。

管轄範囲 4[0..1] : `CharacterString`

消防署の管轄範囲を文字列で記述（住所等）。

■ 定義域

原典資料に示される管轄範囲の住所。管轄範囲 1～3 で不足した場合使用。
250 バイト以内、かつ 1 つの住所が途中でとぎれないようにすること。

管轄範囲 5[0..1] : `CharacterString`

消防署の管轄範囲を文字列で記述（住所等）。

■ 定義域

原典資料に示される管轄範囲の住所。管轄範囲 1～4 で不足した場合使用。
250 バイト以内、かつ 1 つの住所が途中でとぎれないようにすること。

管轄範囲 6[0..1] : `CharacterString`

消防署の管轄範囲を文字列で記述（住所等）。

■ 定義域

原典資料に示される管轄範囲の住所。管轄範囲 1～5 で不足した場合使用。
250 バイト以内、かつ 1 つの住所が途中でとぎれないようにすること。

管轄範囲 7[0..1] : `CharacterString`

消防署の管轄範囲を文字列で記述（住所等）。

■ 定義域

原典資料に示される管轄範囲の住所。管轄範囲 1～6 で不足した場合使用。
250 バイト以内、かつ 1 つの住所が途中でとぎれないようにすること。

管轄範囲 8[0..1] : CharacterString

消防署の管轄範囲を文字列で記述（住所等）。

■ 定義域

原典資料に示される管轄範囲の住所。管轄範囲 1～7 で不足した場合使用。

250 バイト以内、かつ 1 つの住所が途中でとぎれないようにすること。

管轄範囲 9[0..1] : CharacterString

消防署の管轄範囲を文字列で記述（住所等）。

■ 定義域

原典資料に示される管轄範囲の住所。管轄範囲 1～8 で不足した場合使用。

250 バイト以内、かつ 1 つの住所が途中でとぎれないようにすること。

管轄範囲 10[0..1] : CharacterString

消防署の管轄範囲を文字列で記述（住所等）。

■ 定義域

原典資料に示される管轄範囲の住所。管轄範囲 1～9 で不足した場合使用。

250 バイト以内、かつ 1 つの住所が途中でとぎれないようにすること。

管轄範囲 n[0..1] : CharacterString

消防署の管轄範囲を文字列で記述（住所等）。

■ 定義域

原典資料に示される管轄範囲の住所。管轄範囲 1～(n-1)で不足した場合使用。

250 バイト以内、かつ 1 つの住所が途中でとぎれないようにすること。

消防署（点）

上位クラス：消防署パッケージ：消防署

抽象／具象区分：抽象

属性

位置：GM_Point

消防署等施設の敷地のほぼ中心位置。

行政コード：行政（市区町村）コード

消防施設が位置する行政（市区町村）のコード。

■ 定義域

「行政コード」がとりうる値。

種別コード：種別コード

消防施設の種別を表す。

■ 定義域

「種別コード」がとりうる値。

「種別コード」の内容

コード	対応する内容
1	消防本部
2	消防署
3	分署・出張所等

所在地：CharacterString

消防施設が位置している住所。

■ 定義域

原典資料に示される所在地の情報。

市町村名以下とする。

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

なお、消防署パッケージで使用するコードリストは以下の通りである。

- ・行政（市区町村）コード

4.2. 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3. 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS)第 2.1 版 時間スキーマ」を採用する。

5. 参照系

5.1. 座標参照系

参照系識別子：JGD2000/(B,L)

5.2. 時間参照系

参照系識別子：GC/JST

6. データ品質

6.1. 品質要求及び評価手順

データ品質要素／副要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料と対応関係がとれない消防署データが存在すれば、それを過剰なデータとカウントする。
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	過剰データ数 0 個

データ品質要素／副要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料と対応する消防署データが存在しない場合、それをデータの漏れとカウントする。
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	データの漏れの数 0 個

データ品質要素／副要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム（XML パーサなど）による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム（XML バリデータなど）による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	消防署（点）
データ品質評価尺度	地物属性の行政コードの定義域外にある値を持つ地物の割合を計算する。 誤率(%)=(定義域の範囲外にある値を持つ地物属性の数/データ集合内の地物属性の総数)×100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	消防署（点）
データ品質評価尺度	地物属性の種別コードの定義域外にある値を持つ地物の割合を計算する。 誤率(%)=(定義域の範囲外にある値を持つ地物属性の数/データ集合内の地物属性の総数)×100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	消防署管轄範囲（面）
データ品質評価尺度	閉じられていない面があればエラーとしてカウントする。 誤率(%)=(エラーの数/各データの総数)×100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物と背景図（数値地図 25,000(地図画像)）を画面上または出力図に表示し、 原典資料と比較し、位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	実寸 25m 以内

データ品質要素／副要素	主題正確度・定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性を原典資料と比較し、原典資料に記載されている内容と一致しない 地物属性の割合を算出する。 誤率(%)=(内容が一致しない地物属性の数/地物属性の総数)×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

7. データ製品配布

7.1. 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 付属書 12 (規定) 地理マーク付け言語(GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版(GML)付属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

<http://standards.iso.org/ittf/?PublicAvailableStandard/ISO%2019136%20Schemas/>

国土数値情報（消防署）応用スキーマの XML Schema は、付属資料参照のこと。

名前空間：<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/jpgis/xsd/KsjAppSchema.xsd>

名前空間接頭辞：ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2. 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

8. メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0 を採用する。

国土数值情報（消防署）製品仕様書 第 1.1 版

付属資料

1. 符号化仕様作成のためのタグ一覧

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名 (属性・関連役割のみ)
施設				
P17:消防署				
消防署	名称	CharacterString	fsn	Fire Station Name
	FireDepartment			Fire Department
消防署管轄範囲 (面)	管轄範囲	GM_Surface	bou	Bounds
	管轄範囲 1	CharacterString	jf1	Jurisdictional limits of a Fire Station 1
	管轄範囲 2	CharacterString	jf2	Jurisdictional limits of a Fire Station 2
	管轄範囲 3	CharacterString	jf3	Jurisdictional limits of a Fire Station 3
	管轄範囲 4	CharacterString	jf4	Jurisdictional limits of a Fire Station 4
	管轄範囲 5	CharacterString	jf5	Jurisdictional limits of a Fire Station 5
	管轄範囲 6	CharacterString	jf6	Jurisdictional limits of a Fire Station 6
	管轄範囲 7	CharacterString	jf7	Jurisdictional limits of a Fire Station 7
	管轄範囲 8	CharacterString	jf8	Jurisdictional limits of a Fire Station 8
	管轄範囲 9	CharacterString	jf9	Jurisdictional limits of a Fire Station 9
	管轄範囲 10	CharacterString	jf10	Jurisdictional limits of a Fire Station 10
	管轄範囲 n	CharacterString	Jfn	Jurisdictional limits of a Fire Station n
	消防署 (点)	地点	GM_Point	pos
行政コード		行政コード	aac	Administrative Area Code
種別コード		種別コード	ccd	Category Code
所在地		CharacterString	adr	Address
FireStation				Fire Station

2. 符号化仕様

```
<?xml version="1.1" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
elementFormDefault="qualified" version="1.1">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.xsd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="FireStation" type="ksj:FireStationType" substitutionGroup="ksj:FireDepartment"/>
  <xsd:complexType name="FireStationType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>消防署(点)</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="ksj:FireDepartmentType">
        <xsd:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
          <xsd:element name="pos" type="gml:PointPropertyType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>地点</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="fsn" type="xsd:string">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>名称</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="aac" type="gml:CodeType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>行政コード</xsd:documentation>
            <xsd:appinfo>
              <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultspace>
            </xsd:appinfo>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="ccd" type="ksj:CategoryCode">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>種別コード</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
        </xsd:sequence>
      </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
  </xsd:complexType>

```

```

    <xsd:element name="adr" type="xsd:string">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>所在地</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
  </xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name=" FireStationPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj: FireStation" />
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="FireStationMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:FireStation" />
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="FireStationJurisdiction" Type="ksj:FireStationJurisdictionType"
substitutionGroup="ksj:FireDepartment" />
<xsd:complexType name="FireStationJurisdictionType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>消防署管轄範圍(面)</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="ksj:FireDepartmentType">
      </xsd:sequence>
      <xsd:element name="bou" type="gml:SurfacePropertyType">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>範圍</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="fsn" type="xsd:string">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>名稱</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="jf1" type="xsd:string">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>管轄範圍 1</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="jf2" type="xsd:integer" minOccurs="0">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>管轄範圍 2</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="jf3" type="xsd:integer" minOccurs="0">
        <xsd:annotation>

```

```

    <xsd:documentation>管轄範圍 3</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="jf4" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>管轄範圍 4</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="jf5" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>管轄範圍 5</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="jf6" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>管轄範圍 6</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="jf7" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>管轄範圍 7</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="jf8" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>管轄範圍 8</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="jf9" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>管轄範圍 9</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="j10" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>管轄範圍 10</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="jn" type="xsd:integer" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>管轄範圍 n</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="FireStationJurisdictionPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:FireStationJurisdiction"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="FireStationJurisdictionMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">

```



```

    <xsd:sequence minOccurs="0">
      <xsd:element ref="ksj:FireStationJurisdiction"/>
    </xsd:sequence>
    <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  </xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="CategoryCode">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>種別コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:union memberTypes="ksj: CategoryCode EnumType ksj: CategoryCode OtherType"/>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name=" CategoryCodeEnumType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>消防本部</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>消防署</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="3">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>分署・出張所</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name=" CategoryCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}"/>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

```